

ヒメキマダラセセリ

Ochlodes ochraceus

兵庫県：要注目

環境省：－

種の概要

前翅長14～16mm程度。翅の表面はひは濃褐色で外縁が幅広く黒褐色で縁どられる。♀は暗褐色の地色で橙黄斑がある。裏は濃橙色～黄緑色。チジミザサ、ススキ、メヒシバなどのイネ科植物を食べる。

山地の林縁やその周囲の草地，林間の小規模な草原などに生息する。山道や農耕地周辺でも見られる。5月中旬～9月にかけて年2回発生する。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

淡路島以外のほぼ全域

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

新規追加種

淡路島以外の県内のほぼ全域に分布するが、南部では少ない。2000年ごろまでは県中部、北部で広く見られ個体数も多かったが、シカの食害で草原環境が変化していることなど生息環境が悪化し、生息の確認できる場所が少なくなった。

保護上の留意点